

## ミライノトウジ ～開放的になれて笑顔満開～

豊富温泉コンシェルジュ・デスク

農山漁村における地域の活性化や、個性的で魅力ある地域づくりの優れた活動を紹介します。

今回は第9回コンクールで優秀賞を受賞した豊富温泉コンシェルジュ・デスクのスタッフにお話を伺いました。

### 《最北端の温泉郷》

豊富温泉は、北海道の北部に位置する豊富町にあります。大正末期のころ、この土地で石油の試掘が行われたとき、天然ガスとともに温泉が噴出し、その後地元の人たちが小屋を建てて利用するようになったのがはじまりです。この温泉は、世界的にもとても珍しい油分を含んだ特徴的な泉質です。乾癬<sup>かんせん</sup>やアトピーなどの慢性皮膚疾患に効用があることが話題となり、全国各地から湯治客が訪れる温泉地になりました。

### 《湯治客のサポート》

全国でも有名になった豊富温泉の湯治をサポートし、湯治客と町をつなげようと2009年9月「豊富温泉コンシェルジュ・デスク」が設立されました。

現在、スタッフ2名のほか保健師、看護師、健康運動指導士で、それぞれの湯治客にあったサポートを心がけて活動しています。



皮膚疾患に効用がある湯治浴場



豊富温泉コンシェルジュ・デスクが入っている、ふれあいセンター

湯治に訪れる人たちは、長期的に滞在されることが多いため、湯治の相談はもちろん、アクセス情報、宿泊施設の紹介や観光案内など、湯治客の総合的な相談案内所になっています。

### 《ミライノトウジの活動》

豊富温泉では“ただ温泉に入る”だけではなく、より“効果的な”湯治をしてもらいたいと、睡眠・食事・運動・心の栄養を基本として、仲間と一緒に楽しみながら療養することができる新しいスタイルの湯治「ミライノトウジ」を提案し取り組んでいます。

お茶会や地元の食材を使用したランチ会、フットパスを利用したお散歩会など、湯治客が一年間を通して参加できるいろいろなイベントを企画し、湯治客同士が交流することで心身ともに元気になってもらうのがねらいとのことです。

また、湯治をきっかけに豊富町や豊富町近郊に移住する人も多く、移住者は2021年12月時点で、約100名ほどになり、現在のスタッフも湯治をきっかけに移住し、ここでの生活を堪能しているそうです。湯治が、地域の人口減少対策や地域の活性化にもつながっています。

最後に、今はコロナ禍でいろいろな制限があり、自由に活動することができませんが、このような状況の中でもどのようにして活動を続けていくかを探りながら行動し考え、交流の場を増やしていき、そして湯治客の皆様が心身ともに元気になることを願って活動していきたいと秘めた想いを語ってくれました。

※ 当協会ホームページ、開発調査総合研究所・調査研究報告書から「わが村は美しくー北海道」第1～9回受賞団体の活動概要をまとめた冊子をご覧ください。